



豊高だより

平成27年7月21日発行 通算36号

埼玉県立豊岡高等学校

(題字は本校 小川 崇 教諭)

巻頭言

校長 内田一雄

◎この地区の模範高校生を目指そう！

7月15日の非行防止教室で、講師の埼玉県ネットアドバイザーの笠松氏から、スマホの使い方のご指導をいただきました。その際、使い方において小中学生の模範になってほしいというお言葉がありました。スマホの使い方においては、大人よりも高校生の方がずっと詳しいでしょう。お兄さんお姉さんの言うことは小中学生にダイレクトに響きます。是非自覚の下、自制心を働かせて模範的なユーザーになてくれることを期待したいと思います。

7月16日には、狭山警察署の方にお越しいただき、自転車運転のマナーを中心に交通安全教室を開催しました。台風の影響で強烈な雨が体育館の屋根を叩いている時でした。雨音で聴き取りづらかったと思われましたが、全校生徒がマナー良く聞くことができました。誰でもが被害者にも加害者にもなり



得るのが自転車事故の特徴の一つでしょう。歩いてきた高齢の方を自転車に乗っていた本校生が接触して転倒させ大けがを負わせた場合を想定し、事故後の保証のことを少し考えてもらいました。そして早めの登校、時間にゆとりを持たせた登校を勧めました。その際、自転車の乗り方や歩き方でも小中学校生の模範となることを要望しました。

◎部活動での笑顔や真剣な表情に感服

期末考査が終了するころまでは気温も低めで過ごし易かったですが、7月10日頃から梅雨が明けたのかと思えるほどに急に気温が上昇しました。登山部の山行も予定されていました。季節がら野球部の甲子園大会県予選も始まりました。バスケットボールなど他校をお呼びしての練習試合も組まれていました。蒸し暑い中、テニス・陸



上・サッカーとギリギリ差す太陽の下ギリギリの練習に励んでいます。吹奏楽団やダンス部も野球応援の練習を入念に行っていました。熱中症を心配しました。しかし、生徒たちは一人も倒れることなく、声を出しながら明るく力強く懸命に練習に集中していました。心身ともに日ごろから本気で練習を積んでいるからこそこのようないざどろいけるのだと感心しました。本校の生徒たちの伸び代は大きいぞとうれしくなりました。

◎110mハードルでインターハイ出場

石川 舜 選手(向原中出身)に期待

去年の関東大会突破を逃した悔しさをバネに今年は見事インターハイ大会の出場権を勝ち取った石川舜選手が、7月13日に埼玉会館で開かれた約1000人の選手団の結団式に臨みました。上田埼玉県知事や杉山埼玉県高体連会長の激



励の言葉を堂々と胸を張って聞いていた姿は正に雄姿そのものでした。8月に和歌山市を会場に開催されるインターハイ大会での活躍を期待したいと思います。去年、アーチエリーで優勝した駒形竜成君(上藤沢中出身)に続いて成果を出せることを期待したいと思います。

◎高大接続の動きに惑わされず、学問の王道を歩め

本校は、今年から2年間、埼玉県教育委員会から「生徒の心に火を点ける！学力アップ推進プロジェクト」における「学力向上重点推進校」に指定されました。埼玉県教育委員会が、この地域における進学校としての本校の使命を後押しして下さっている証拠です。生徒の皆さんには、後顧の憂いなく勉学に部活動に委員会活動に本気で臨んでほしいと思います。立志講演会など企画していきます。

最近、高大接続の在り方への改革案が話題を呼びます。特に思考力、判断力、表現力が重視されています。英語に関しては、聞く・話す・読む・書くの4技能の内、特に聞く話すの力については、外部資格試験の利用が確実視されています。記述回答もより多く

導入されてくるようです。しかし、調べれば調べるほど、学力の基本が大切だと考えるようになりまします。学力の基本的体力を身に着けるために、先ず、むさぼるように本を読んでほしいと思います。特に新書類を濫読してください。頭を耕すことが大切で、新書の濫読は正にその作業に当たります。そして、高品質の情報の刺激を得て、あれこれ考えてください。自分の考えをノートに記述してください。タブレットを利用してデータ保存の形でも結構ですが、インプットとアウトプットをバランスよくコツコツと実践してください。孤独な作業をしつかり実践してほしいのです。それなしには、国内はもとより世界の人たちとの競争を視野に入れた時には、スタートラインにさえ立っていない状況になりうるからです。スマホに大切な命の時間を浪費しないでください。自分を鍛えるための読書や思索や表現の時間に充てることを強く望みます。そし



て、学力や人間力を競い合う集団を作り上げていってください。

各年次より

『家庭学習時間を増やそう』

一年次主任 橋本克洋

一学期は三年生が部活動から引退する時期です。あるソフトボール部員の話です。負ければ引退となる大会前最後の練習試合後の一言「勝ったけど、全然うれしくない。」勝っても試合内容が悪く満足出来ない様子でした。そして最後の大会に臨み、県大会の三回戦で敗退しました。試合後、あつと言期間の二年三ヶ月を振り返る彼女は実に晴れ晴れとした顔で、満足そうな様子でした。この日の彼女は落ち着いて試合に臨み彼女にとつて最高の試合になったからです。反面、フライをグラブに当てながら捕球できずタイムリーにしてしまい悔いを残して終わった者もいます。生徒の皆さんには力を出し切り悔いの残らない高校生活を送って欲しいと思います。また、現状や結果に満足することなく、志を高く持って日々の生活を送って欲しいと思います。あつと言期間の三年間です。あつと言期間の部員の発言を知っている人はほとんどいないと思います。世の中に

は自分が気が付かない・知らないだけで、色々なものの見方・考え方があります。普段当たり前だと思っていることがたとえば任んでい場所が変わると当たり前ではなくなることもあります。夏季休業中は学校の授業がありません。普段出来ないことが出来るチャンスです。普段は出来ない人と出会い、普段は出来ないことにチャレンジして、新しい発見をして欲しいと思います。また、日常の生活も大切にしたいです。高校卒業後の目標が決まっている人は目標に向かって頑張ってもらいたいです。目標が決まっていない人は目標ができたときに困らないような学力を身につけて欲しいです。そのためには、学校の授業が無いからといって羽を伸ばし過ぎないようにして欲しいです。スマホと睨めっこして一日が終わるなどということの無いようにしてください。学校の授業が無いのですから家庭学習の時間を普段よりも増やすようにしてください。

『有意義な夏休みのために』

二年次主任 天海雅充

一学期の皆勤者欠席・遅刻・早退すべて0は177名でした。昨年の一学期は232名でしたので、規則正

しい生活を維持できている生徒は減りました。また、学習面では、昨年の一学期と比べると、成績優良者(評定平均8.0以上)は23名で若干増えましたが、成績不良者(1・2の評価がある生徒)は倍増しました。一年次より継続して意欲的に取り組んでいる生徒と、そうでない生徒の差が広がりつつあります。

六月に三年次の選択科目の登録用紙が提出されました。科目選択の決定に向けて半年以上の期間をかけてきましたが、その様子を見てみると、すでに将来の職業、志望校や学部・学科が決まっ

ていて迷いなく科目選択ができた生徒がいる一方で、なかなか決められず、提出日直前まで悩んでいた生徒もいました。科目選択が終わり、ほつとして二、三年次生も多いのではないのでしょうか。しかし、進路実現に向けて次のステップとして、今後何をなすべきかをしっかりと考えてほしいと思います。

いよいよ高校生活二度目の夏休みを迎えます。40日間の長期休業を有効に使うてほしいと思います。部活動や進学講習の予定がある場合は生活のリズムを維持しやすいですが、予定がない場合は生活のリズムを維持することは難しくなります。そこで、今年も手

帳を活用し、夏休みを計画的に過ごしましょう。例えば、毎日の起床時間・学習時間・起床時間を記録するだけでも、時間の自己管理をすることができ、規則正しい生活を送る一助になると思います。

最後に、「一・二年次の早い時期から勉強にもつと真剣に取り組んでいればよかった」という三年次生の言葉を毎年よく耳にします。進路実現への近道は、早い段階から本格的な勉強を開始し、粘り強く努力を続けることだと思えます。二年次でまだ気持ちに余裕があるこの夏休みがスタートする絶好の機会ですので、ぜひ有意義な夏休みにしてください。

『三点固定で実行あるのみ』

三年次主任 井口政則

一学期の皆勤者(欠席・遅刻・早退すべてゼロ)は188名でした。二年の一学期に比べれば欠席や遅刻は減りましたが、「三年の一学期」としては当然のことと思います。一方学習面では優良者(評価の平均8.0以上)は43名に留まり、この時期としてはかなり期待外れだったと言わざるを得ません。自ら選んだ科目(講座)が授業の3分の2以上だったことを考えるとなおさ

らです。明らかに怠けている、という生徒は少数でしょうが、もつと主体的、意欲的に取り組むことはできたはずで

「センター試験」まで半年となりました。夏休みに入るとAO入試が始まり、二学期に入るとすぐに推薦入試のガイダンスや申請が始まりますが、いずれも「早く決めた」という焦りや、学力に自信がないからという理由で志望するのは誤りです。確実な合否の見通しは立てられませんし、推薦の場合合格後に辞退できません。これはあくまでも一般入試を前提とした上での手段の一つ、と考えるべきです。

制度がいかに複雑多様化している、進学の王道が「一般入試」であることは変わりません。むしろ、他の方法による入学者に比べて、一般入試による入学者は社会的に高く評価されるようになってきています。勿論、本人の自信にもなりますし、目標の達成に向けて努力するという体験が生涯にわたってその人を支える土台となります。

夏休みの過ごし方のポイントは二つ。一つは「起床時刻」・「就寝時刻」・「勉強開始時刻」の三点を固定すること。もう一つはしっかりと

た計画を立て、確実にこなしていくことです。夏休みが合否の分かれ目であることを知らない人はいないと思いますから、あとは実行あるのみです。

生徒指導部より

『規律ある学校生活を送るため』

生徒指導主任 三上恭央

制服も一年次から三年次まで統一され、新校・豊岡が再スタートし三年目の夏を迎えました。

一学期を振り返りますと、一般的に生徒は、落ち着いた学校生活を過ごせたといえます。毎朝、正門に立っています。ほとんど生徒が、挨拶を返してくれるようになりました。遅刻もほぼなく、8時40分前には登校が完了しています。「遅刻者がほとんどいない」という状況は、まさに保護者の皆様方のご協力のお陰であり、感謝申し上げます。

例年のお願いはありますが、長期休業を迎えるにあたって、「アルバイトをしたい」と申し出るお子様がいると思います。しかしながら、本校では「アルバイトにあてる時間を是非、学習や部活動に使うてほしい」との思いからアルバイ

トは原則禁止にしています。このよ
うな通知文・集会・各担任がHR
等で「アルバイトの禁止」について指
導しています。また、アルバイトを
している生徒が判明次第、学校で
は担任・指導部が指導をしていま
す。ご理解をお願い致します。

先日、本校では講師の方をお招
きして、非行防止教室を開催しま
した。その中で、特にSNS(ライン
等も含む)上に写真を掲載する危
険性についてのお話がありました。
写真にGPS位置情報が記載さ
れ、ストーカー被害にあつてしま
うこと。書き込み・写真掲載が原因
で、就職内定取り消し・推薦合格
取り消し等が実際にあつたこと。
また、仲間同士だけのラインのや
りとりが、スクリーンショットでイ
ターネット上に拡散されてしまう
ことなど、様々な危険性について
お話でした。スマートフォン使用
時間・利用方法など、今一度、お
子様と話してルールを決めて
ください。

再三にわたるお願いですが、改
善されていない状況ですので、再
度記載させて頂きます。

今年度からのスカート^①の基準は
『スカートは、膝頭(ひざかしら)
に触れるものとする。』です。
入学前の採寸では、これを基準
に採寸しました。

スカートを上げたり、折り曲げ

たり、ベルト等で固定しないこと。
固定具を見つけた場合は預かり
指導としています。

登校時・帰宅時にお子様^②の服装
の確認を宜しくお願いします。

夏休み中は、豊岡高校生徒全
員が安全に留意し、有意義に過
ごして、学習に励み、心身を鍛
え、元気に二学期を迎えること
を願っております。

保健室よの

◎規則正しい生活を

養護教諭 吉田直美

菊池未来乃

4月からの定期健康診断は慌
ただしくも無事終了しました。治
療が必要な場合はお知らせを配
布しましたので夏休みを利用して
受診し、早めに治しておきましょ
う。保健室来室状況は、4月～7
月10日までで、のべ^③416人が来室
しました。1日平均^④6.人です。来室
理由は様々ですが、体温を計測
すると35℃代^⑤の人が昨年と変わ
らず多いように感じます。体温が
1℃下^⑥がると基礎代謝が12%低
下するそうです。また、低体温に
より偏頭痛や貧血、倦怠感、動
悸、めまい、息切れなどが起こり
やすくなる^⑦と言われています。

体温を上げるためには、①朝食
をとること ②身体を動かすこと
③睡眠不足を避けることです。夏
休みを迎え生活リズムが乱れやす
くなりますが、規則正しい生活を
送り体調管理に努めましょう。

H27年度 一学期保健室来室状況 (H27.4/3~7/10)

		4月		5月		6月		7月		計(人)
		内科	外科	内科	外科	内科	外科	内科	外科	
1年	男子	4	1	7	10	14	13	2	3	54
	女子	7	4	11	7	11	16	3	2	61
2年	男子	15	7	8	13	19	14	1	2	79
	女子	8	7	16	11	17	16	4	1	80
3年	男子	10	9	9	6	15	10	0	1	60
	女子	7	4	17	11	30	8	3	2	82
計		51	32	68	58	106	77	13	11	416

◎熱中症・食中毒について

本格的な暑さになる夏休みには、熱中症が^①起こりやすく、また食中毒にも注意が必要になります。

こむら返りや立ちくらみも熱中症のサインです。こまめな水分補給をしましょう。食中毒は、手洗い・うがいの徹底と食べ物の管理に注意しましょう。

